

No. 6

1983年

同窓会より

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院同窓会

岡山市祇園地先

TEL 75-0145

— 編集責任者 —

同窓会会長 守屋 礼子



前庭の造園風景

小春日のうらかな時節となりました。同窓会の皆様には相変らずお元気で活躍のこととおよろこび申し上げます。

さて、お互いの親睦を深めるとともに、永く母校とのつながりを保つことを目的として発足しました同窓会も満七年が経過して、ヨチヨチ歩

ごあいさつ

同窓会長 守屋 礼子

きから大きく躍進する段階をむかえました。

これまで年に一度の総会を機に、北から南から同窓生が母校に集い楽しい語らいのうちに所期の目的を達成すべくいろいろな企画も検討されてまいりました。しかしながら、種々の制約により好企画も実現をみないまま今日に至っております。たゞ年ごとに発展充実する母校の歩みに声援を送るとともに、各種行事に対し、同窓会として支援することができましたことは皆様とともによろこびとすることでございます。

めぐりきあって、今年も学院祭の季節となりましたが、時期を同じくして開いてきました総会を予定通り開催したいと存じます。

毎日諸事に追われておりますと、ついには大切なものを見失ってしまいがちです。お互いに御無沙汰を重ねておりますと消息さえもつかめなくなりがちです。総会にはぜひご参加をいただき語らいに花を咲かせたいものです。そして、同窓会についてもその在り方をいま一度確認し、力強い歩みにしたいと心から願っております。

躍んでご案内申し上げる次第です。



土のうた

学院正面玄関に「土のうた」と題する陶壁がある。今年三月に完成したこの陶壁は、信楽作家笹山忠保氏の指導によりあかしや園の子どもたちが制作したもの。

笹山氏は「土のうた」制作にあたって、と題する次の一文を寄せている。

土の塊をてのひらでまるめてもてあそぶ、
そのとき 私の手には、ものづくりとしての作意が走らなくても、
それまで無表情であった土の塊は、
とつぜんさまざまな表情で語りはじめる。
まるでむくな子供たちのように……

旭川荘の子供たちと土あそびをしました。

ドンと土の塊を目の前につきつけられ、とまどい、たじろぎ、こわばっていた子供たちは、しばらくすると、もう夢中でそれぞれ、土に触れ、土の中に入り、土と親しみ、やがては私など及びもつかない未知の世界で土と語りはじめるのです。

それぞらしい芸術的意図など、かわりのない透明な空気の中、土の表情の子供の顔が、あるいは、子供の表情をした土の塊が、いくつも、いくつも生まれ、炉の中で炎の洗礼を受けました。

土と子供たちの、力強いうたがえが、旭川荘厚生専門学院の壁でいつまでも響きつづくことを願って「土のうた」を制作しました。

同窓会案内

日時 十一月六日(日)

十一時~十二時

場所 母校

学院祭案内

統一テーマ

「愛」

十一月五日~六日



学院の近況

顧問 長安 一郎

卒業生の皆さんお元気ですか。年一回発行の同窓会だよりに母校学院の一年間の歩みの概略をお知らせします。

今春三月一五日、第一一回卒業式で保育科五四名、第一看護科五〇名、第二看護科五三名、合計一五七名をお送りしました。これで第一回卒業からの総計は一、二二二名の卒業生数となりました。

そして四月五日の第一三回新入生入学式で、保育科六〇名、第一看護科一〇二名、第二看護科五五名、合計二一七名の新入生を迎えました。

昭和五八年度は第一看護科二クラス編成の完成年度で、保育科二クラス、第一看護科六クラス、第二看護科二クラスで全学院一〇クラスとなり、在学生総数が五〇五名となって開学以来始めて五〇〇名を超える大世帯となりました。

職員の異動は、看護科の黒田先生（学院第一期卒業生だった）が結婚退職されて東京へ行かれた外は殆んどありませんでした。

学院の施設は年々拡張して大整備されましたが、開学当時建設した便所の浄化槽が最高四〇〇名分程度の処理能力であったので、学生数の増加によって、どうしても大きな浄化槽を造らねばならなくなりました。しかも、新しい規則によって、今後建設するものは便所のし尿の外に、風呂、洗濯、炊事などの生活用水も一緒に処理する大きな合併処理槽でなければなりません。

そのため昨秋から食堂東側のところへ縦二・三米、横七米、深さ五米の七五〇人分の処理能力のある大きな



合併処理槽を建設しました。これで学生数が増加しても構わなくなりました。

また園地の美化整備を目差して校舎前の造園と植樹をやって、落ちついた雰囲気が高まっております。

特に最近、バイク通学生が激増して現在二〇〇台もあります。それで学院東北端の川のところへ護岸工事をして、自転車、バイク置場を作りました。

更に、近い将来社会福祉主事を養成する新しい学科の新設も研究しております。

同窓会の皆さん、各地で頑張っておられることと思います。どうか良い機会を得て発展している母校を訪ねて見て下さい。

それにつけて、来る一月六日は第一二回学院祭と同窓会総会が開かれます。なつかしい旧友を、おさそい合せて一人でも多く母校へお出掛け下さい。お待ちしております。

窓口より



教務課

専門学校に対する社会の認識が高まるにつれ、学院への入学希望者も年ごとに急増しております。それにつれてきびしくなるいっぽうの入学

各年度の
学生数

年度	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
保育科	29	54	50	44	40	56	69	77	76	87	109	110	113
看護科								43	100	150	193	229	271
計	80	165	186	200	217	223	248	285	300	358	418	459	506

卒業生数

年度	第1回 (48.3)	第2回 (49.3)	第3回 (50.3)	第4回 (51.3)	第5回 (52.3)	第6回 (53.3)	第7回 (54.3)	第8回 (55.3)	第9回 (56.3)	第10回 (57.3)	第11回 (58.3)	計
保育科	28	24	25	16	23	32	36	40	34	52	54	364
看護科								36	56	50	142	
計	71	79	93	95	111	101	138	94	127	155	157	1,221

状況です。今年度の倍率は保育科約二倍、第一看護科約五倍、第二看護科約三倍。

うれしさとともに専門学校のもつ社会的責任を痛感し、難関を突破して入学してくる学生たちが確実な知識・技術を修得し専門職業人として立派に自立できるようにキメの細かい教育の実践に努力を注いでおります。

学生課

にぎやかな談笑の中にお国言葉が交じる、賑しい学業のつかの間の若人の楽しいひとときである。学生の

出身地も多様であるが、やはり近畿以西の学生が多い。約半数強が岡山県出身で中国、九州等約五〇〇人の学生のうちには、看護士を目指す男子学生も散見される。さて学生にとって学業への努力は当然のことですが、一方通学上の交通安全が大きな課題となっております。現在学院生は約二〇〇台ものミニバイクで通学しています。今年の岡山県の交通事故は異常に多く、学院生も大事には至らなかったものの事故が多発しています。安全の為にヘルメットを必ず着用さすよう指導を強めている昨今です。学業とともに大切な部活動では硬式野球部が江田島青年の家に夏期合宿を行い日焼けした顔を見せ、又ボランティア部等もよく活動しています。さらに多くの学生が部活動を通じてよきものを体得するよう念願しています。学院の現状のごく一端をお伝えいたしました。私どもも学生の育成に微力ながら励んでまいります。今後とも学院に一層のご援助とご関心をいただくようお願い致します。



おたより



安達 文子

K8期生の皆様へ
今年正月からの、卒業生からの皆様お元気でしょうか。

もう三年もすぎ、ぼちぼち脂の乗りも良くなった今頃、それぞれの職場で御活躍されていらっしゃる事と存じます。

第一回クラス会には三二名ものお集りで時間のたつのも忘れ話に夢中でした。遠いところから来て下さってほんとにありがたうございました。次回もまた、次も元気で皆さんで集りましょう。子育て時代の充実した人生を歩んでおられる方達で一杯になることでしょう。たのしみにしてあります。

人生八〇年となりましたワネ私達でもその中で私はもう三〇余りを来てしまいい来年は大代を迎えます。いろいろな事がありました皆様と送った二年間喜びも苦しみも、後にも先にもないすばらしい人生でした。何時でもほのぼのと温かく思い出されます。

集い――保育科第九回卒業生――

職業人となって二年余。ようやく職場にも慣れ、事に追われながらも落ちつきと新たな意欲に燃えるころ、お互いの近況を確かめるとともに旧交を温めようと、秋の夜の集いを計画しています。集いの日は、岡山市田町のジョイ地蔵「一銭蒸気」集いの日は、十月二十二日六時半から。きっと懐かしい顔・かお・カオでたのしい話の花が咲くことでしょう。

の涙をうかべられて笑っていらっしやった顔を……。今母となられた方達の胸にはつきりと理解されることと思います。

どうか御自身を大切に健康で御家族をお守り下さい。

何時かまたお逢いしましょう。同窓会総会いらっしやいませんか。お待ちして居ります。いろいろお話ししましょう。

谷川 恵美子

皆様お変わりございませんか。早いもので卒業して八年……。今では家事、育児、三交替勤務と毎日目まぐるしい日々を送っております。病院ではPOSの勉強に取り組んでおりますが、仲々頭の切替えが出来ない為、悩んでいる今日この頃です。

西屋 和子

梅雨があけ猛暑となりましたがいかがお過ごしですか。私は五六年一二月から三門診療所に勤務がわり、乳癌検診とか青春会（高血圧の患者会）など頑張っております。夜は協立病院の寮にまだ入っておりますので、近くに來られたら寄って下さい。九期生の皆様、先生方お元気です。

茂木 サダ子

私は三月一杯で退職して、秋田に帰ってきています。五月二日から近くの保育所にパートとして勤めています。こちらで保母として勤められて幸せです。しかし、人並みに結婚したくなる年なのでそうしたいのですが、相手がいないのでできません。「お嫁に行けない私」という歌がある事を知り、歌は古いが新鮮な驚きがありました。

青木 晴子

御無沙汰しています。毎年同窓会の案内を頂きながら、遠方にて出席できないままになっております。学院を出てもう八年目。五年間は滋賀の精華児童施設「近江学園」で御世話になり、その後劇団「文化座」に入団の為東京に出てきました。現在劇団の人と結婚し一児の母となりました。母になり初めて子供を育てる事の難しさをしみじみ感じております。保母として教育を受けたにもかかわらず、日に日に変化していく子供の成長に、めんどくらくしております。（身体で覚えた事は、なかなか忘れませんが……）文字のみで、頭の中に何も入っていない事を恥じ、再度保母の勉強をしております。

八木 美智子

（旧姓 竹原）

私、今も国立療養所津山病院五病棟勤務です。毎日楽しく仕事しています。楽しい仕事も九月の終りにはひと休み！ え？ なぜかと申しますと、この間の同窓会の皆様の指導が良かったのか、今年の一一月には

井上 三千代

卒業してはや六年が過ぎました。卒業と同時に岡山県立岡山盲学校の実習助手として働いております。私が目ざしていた保母の道とはいふんかけはなれておりますが、それでも共通するものもあります。楽しいことばかりはなく、色々とむずかしい面も多いのですが、それでも自分自身に負けずに一生けんめい頑張っております。

最近うれしいことがあります。それは後輩の皆さんが「点訳」に取り組んでくれていることです。近頃は墨字を入れると点字になって出てくる機械もできていますがまだまだ視覚障害者の人達にゆきとどくだけの本がありません。そんな実態の中、一人でも点字を覚えて一人前の点訳者になっていただけたらという事は視覚障害者にとって最高のプレゼントになります。皆さん、これから私達と一緒に頑張ってください。

森下 百代

ピアノの試験があるのに練習しておらず、あせっている夢を見て目が覚めました。私は四期生ですので卒業してもう八年目になります。学院時代の記憶は今も鮮明です。生まれて初めての寮生活、福祉施設でのアルバイト、ほとんど緑のなかった

内藤 精子

卒業以来一一年目を迎え、県北津山にて今も保育園保母を続けております。

ピアノを弾くことのながたが私に子どもたちの前でニコヤカにオルガンを弾いている姿を想像下さい。「僕たち、ちゃいいます」って同期の皆さんそう言うに決まっています。家で六歳になる息子と一緒に練習をするこの頃となりました。

この秋には第三子出産予定をひかえ、上二人が男の子なので次はぜひ女の子をを期待し、大きなお腹で仕事に、家庭にと多忙な日々を送っております。

守安 広美

保育科の先生方お元気ですか？ 私は暑さに負けないで毎日子どもたちと園庭を走り回って遊んでいます。

す。今では、すっかり保育園にも慣れ、これから行われる「夏まつり」の準備に頑張っています。最初の一ヶ月ほどはつらいこともあったけど、何となく「がまん、がまん」で一生懸命やってみました。やはりピアノが弾けないのが一番つらいです。でもそんなことには負けないで私なりに適当にごまかしてやっています。

これからまだまだ暑くなりますが、お体に気をつけて下さい。まだまだ書きたいことはいっぱいあるので……また学院の方に遊びに行きます。

甲斐美智子
前略ごめんくださいませ。梅雨も終りに近づき雨が多くなり、親子供家の中でカビがはえそうです。本日は、住所変更をお知らせしたいと思って書いておきます。五六年一二月に結婚し、仕事は今の所休んで主婦と育児に専念しております。天気の良日は子供と外に出ますので、まっ黒に日焼けしており、が心配です。そろそろ仕事を始めたいと思いい車の練習をしています。今一、秋の同窓会だよりを楽しみにお待ち致しております。暑い折、お体には気をつけてお過ごし下さいませ。

中村和代
お元気ですか？ 私はしっかり生きております。早いもので卒業してからもう四月月を過ぎようとしているのです。先日六月二七日に、近くに就職した友人二人と一緒に「学食を食べに行こう」ということで、受ける母校を訪ねました。校内はきれいになり、なんだかすべてのものがとても新鮮に感じられました。諸先生方もお元気そうで、声をかけて下さり、「やっぱり母校はいいな」なんてしみじみ思ったりして……。そうそう、豊山先生にはしっかり溶け込んだアイスクリューをいただきました。かわいいうちの先輩も「先輩」なんて呼ばれてなかなか慣れませんでした。クスマ！ 学食の親子丼もおいしかったですよ！

私にとってここでの二年間はとにかくすばらしかった。たくさんの愛する人たちとの出逢いがあり、人間としての成長がありました。「我が青春の源はここにあり」です。ところで、保育科一期生は五月一日大切な一人の仲間を事故で失いました。葬儀には半数以上の友が参り、言葉もいままに涙の再会をしました。今、みんな悲しみを乗り越えてそれぞれに頑張っているはず。彼女からきた最後の手紙に「今、この時を大切に、精一杯、正直に生きる」みんな、ゆりちゃんの方も一生懸命生きようね！

富永照子
卒業して丁度一〇年。長い間ご無沙汰しておりました。学院の先生方お元気でしょうか。随分御世話になって卒業しましたが何の便りもせず失礼しました。卒業して浜松市赤松町勤務する一方、サークル（障害者問題研究・手話）活動をし、在宅児を集めて日曜保育に参加したりした折に、旭川荘でのアルバイト、実習を思い出したり、前堀川学院長の言葉を思い出したりしました。

山崎雅子
七年半務めた職場を去った。（ももどの学園）
体の調子が悪く、年々、バリバリと意欲に燃えて若い人が入ってくる。私は、と言うと目に見えて体力も衰え、走ったり、踊ったり、歌ったりできなくなる。徹夜などすると次の日回復しない。この仕事、健康が一番。年々かな（二八才）と思いはじめるともういけない。七年半、長いようで短いような。私の青春時代終わってしまったような気分。

現在仕事と子育てに追われ、離れて病院での手話通訳のみですが、障害者会との拘わりは続いていると考えています。
在学中はそれ程感じませんでした。が、卒業してから旭川荘での実習、難かしく感じました。教官の良さが分り、はるばる行って良かったと思えました。在学中は不勉強、不出来で迷惑を掛けましたが、今は感謝の気持ちで折に触れ思い出しております。まだまだ家庭と仕事の両立で頑張りたいと思っています。

山崎雅子
七年半務めた職場を去った。（ももどの学園）
体の調子が悪く、年々、バリバリと意欲に燃えて若い人が入ってくる。私は、と言うと目に見えて体力も衰え、走ったり、踊ったり、歌ったりできなくなる。徹夜などすると次の日回復しない。この仕事、健康が一番。年々かな（二八才）と思いはじめるともういけない。七年半、長いようで短いような。私の青春時代終わってしまったような気分。

退職して一番つらい事。タイズのハガキや書類や自己紹介等々、職業のところでいつも「主婦」と言わねばならない。とーちゃんに食わしてもらっている、あわねな女です。と言っているようなもの。そうじ、洗たく、朝ねほう、お昼寝等々と引きかえに「何ぞぞ！」「まだまだ！」とつらつら仕事が続いて来た私とおさらばしてしまっただけ。それは、小さいときとでも大切な宝物だったのになくしてしまった気分。今でも私は夢の中で仕事をしている。重大な事を忘れて、皆におこられたり、思うように仕事が行かず泣いたり……。目が覚めて「夢か」と思うと淋しくなる。

現在三ヶ月の我子に手をやきながら、早よ大きくなれ、なれとミルクをたっぷりあげています。かーちゃんね、あんたが大きくなったらね、あれもしたい、これもしたい。あーあ、早よ、大きくなれ、なれ。最後に、キャリア・ウーマン達よ、頑張れ、頑張れ。

編集後記

○ 本年三月の卒業生一五七名を加えて同窓生は総数一、二二一名となりました。

○ 同窓生名簿を作った皆様にご利用いたゞきたいと準備をすすめておりますが、住所不明の方が何人かあります。住所・姓を變更されたら速やかに事務局まで一報くださるようお願いいたします。また、折々の記を寄せて下さる「たより」の発行をせめて年二回にしたいと願っております。

○ わたしたちの仕事はまさに人間が人間を人間にする営みだと思えます。それだけにきびしい職業ですが、お互いに体に気をつけてより一層頑張りたいと思います。梅は寒に苦を経て清香を発す。おたよりありがとうございます。

(S・N記)

